

保健だより卒業号

令和4年2月28日
仙台南高校保健室発行

卒業おめでとう

3年生のみなさん

ご卒業おめでとうございます。
これは、仙台南高校での最後の
保健だよりになります。

3年前の4月、仙台南高校に入学してきた皆さん。私も皆さんと同じ3年前に仙台南高校に赴任しました。地元の中学校に通うのとはまた違った緊張感や不安・期待色々な思いを抱えて入学してきたと思います。

保健室では、生徒全員とじっくり話をする機会はずりありませんが、皆さんが高校生活を送るためにそして自己実現を目指して頑張っている皆さんを保健室という立場から少しでも支えて行ければいいなと思ってきました。

4月からは新しい環境で新しい仲間たちと過ごすこととなります。これからの人生の方が長いですし、良いことばかりではないかもしれませんが、でも、心も身体も健康でいられば、必ず道は開けていくと信じています。

そして、当たり前なのに感謝できる人になって欲しいと思います。人と比べていくらうらやましがっても、実情は変わりません。苦境に立たされた時こそ、そこから多くを学び取るチャンスだと思って、様々な人に助けってもらったり、アドバイスをもらったりしながら自分らしく一步一步前進して行って欲しいと思います。

最後になりましたが、保護者の皆様にも体調不良やケガなどの際には、遠方にもかかわらず迎えに来て頂くなど様々なご協力を頂きありがとうございました。

中学生の頃までとは違って、子どもたちの学校での様子を伺い知る機会が減り、心配な点もありだっただと思いますが、それと同時に我が子の成長を感じられる3年間だったのではないのでしょうか。18年間の子育て本当にお疲れ様でした。ほとんどのお子さんが次の進学に向かうため、まだまだ子育て卒業とはいきませんが、親元を巣立っていく準備が着々と始まっています。

18年前に産まれてきた時のことを思うと感慨深いものがあるのではないのでしょうか。色々なことがあって、思うようには子育てはいかず、悩んだこともあったと思います。親子とは言え違う人格であり、所有物ではないとわかっている、右往左往しながら今日まで保護者としてできる限りのことをしようと努力なさってきたと思います。今は、子どもたちにはわからないかもしれ

ませんが、いつか子どもたちも子育てをするようになったときに、保護者の皆さんの気持ちに少しは気がつくのではないのでしょうか。本当にありがたいことだったんだと。そんな気持ちを抱きながら、明日の卒業式を胸に焼きつけて欲しいなと思っています。

